

## 令和 3 (2021)年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	シルクロードの国際交易都市スイヤブの成立と変遷－農耕都市空間と遊牧民世界の共存－
研究代表者	山内 和也 (帝京大学・文化財研究所・教授) ※令和 3 (2021)年 7 月末現在
研究期間	令和 3 (2021)年度～令和 7 (2025)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p><b>【課題の概要】</b></p> <p>本研究は、ソグド人遺跡であるスイヤブ、隣接する唐の碎葉鎮城、それを囲む遊牧民地域を総合的に調査しようとする野心的な計画である。2011 年以来行われている発掘調査の延長であると同時に、考古学、美術学、生物考古学、考古医学、文化財化学、宗教史などの分野から多数の研究者が参加する。得られた知見は GIS (Geographical Information System) を用いて体系化し、国際的に付す計画である。</p> <hr style="border-top: 1px dotted black;"/> <p><b>【学術的意義、期待される研究成果等】</b></p> <p>スイヤブの都市遺構の考古学的調査を中心として、その遊牧民世界との共生関係を探ろうとするスケールの大きな研究である。学際的で多言語使用の研究を遂行するため、これまで必ずしも中央ユーラシア研究には従事していなかった研究者も参加しており、総力を挙げて取り組む姿勢が表れている。古典的な考古学と文理融合の先端的研究方法がバランスよく結合されており、着実な研究成果が生み出されると期待される。</p>